

Lib.

京都産業大学図書館報

v.34, no.1 (Apr.1, 2007)

**特集**

「図書館行っとく？ ～生活密着型 図書館活用術～」

<個人視聴覚室 101 が リニューアルオープン！>	7
<貴重資料探訪>	8
<海外の図書館紹介>	9-11
<Lib.なび>	12-13
図書	
雑誌	
映画	
音楽	
<情報の探し方>	14
<教員文庫寄贈一覧>	15
<Information>	15
<司書のお仕事>	16

<自著を語る>

37. 『高分子物理学』	曾我見 郁夫
38. 『章柄麟と明治思潮』	小林 武
39. 『中国経済の市場化・グローバル化』	岡本 光治
40. 『ウィルソン外交と日本』	高原 秀介

図書館 行っとく？

生活
密着型

図書館活用術

春は新しい出会いがあったり、授業が始まったりと、新たにスタートを迎える季節です。そんなみなさんの学生生活をバックアップすべく、今回の特集は「図書館行っとく？」として、図書館へ気軽に来ていただけるように考えました。

勉強にも役立つ「ON」の本、日常生活にうれしい「OFF」の本。図書館にはそのどちらにも使える資料がたくさんあります。これらを上手く活用していただくために、図書館の各コーナーから図書館員が選んだ「ON/OFF 本」や図書館の便利なサービスをご紹介します。

新入生のみなさん、入学おめでとう。京都産業大学の図書館を代表し、心より祝意を表します。大きな希望を胸に、神山キャンパスに初めて足を踏み入れた、今日の感動を、忘れないでほしいと思います。

さて、知的好奇心、「見たい、知りたい」という情報への強い欲求は、人間だけの特性です。本能といってもよいでしょう。産大の図書館には、100万冊をこえる蔵書があります。図書は年間約3万冊ずつ増え、ますます充実していますし、定期購読の雑誌も学術雑誌から内外の情報誌・週刊誌まで、雑誌購入費にかぎっても約1億円の予算があります。新聞は全国紙はもとより、有力な地方紙のほとんどをカバーしていますから、ふるさとの新聞もこれまでと同じように読むことができます。みなさんのなかには、京都に憧れ、勉学の地と定めた人もいるでしょう。江戸時代の洛中名所案内から、現代の観光ガイドまで、京都関係の図書を一同に揃えたコーナーは、産大の自慢の一つです。ビデオやDVDのソフトも豊富で、洋画や韓流ドラマなど、楽しみながらの語学学習に活用が望めます。視聴覚コーナーは、この春、機器を最新のものに入れ換えたばかりです。図書館ホールでは大画面での映画の上映や、講演会などが開催されています。昨年は『野ブタ。をプロデュース』の作者、白岩玄さんをお招きしました。貴重書を計画的に展覧している展示スペースにも注目してほしいですし、書評大賞にも、ぜひ応募してくだ

さい。まだまだ、図書館の魅力は、ここに書きつくせないほどです。

産大では、今年から図書館司書資格が取得できるようになりました。その講義を担当する司書をはじめ、情報サービスに精通したスタッフが、文献調査や資料の取り寄せ、他機関への紹介などを行っています。レポートや卒業論文の作成を、しっかりサポートしますので、安心して勉学に励んでいただきたいと思います。図書館を見れば、その大学のレベルがわかる、とよく耳にします。利用している学生の質がそのまま出るからです。図書館に魂を入れるのはみなさんの仕事です。ルールとマナーをしっかり守り、さらに素晴らしい図書館となるように、利用者としての立場からの参画、協力をお願いしたいと思います。

こぼやし かずひこ
図書館長 小林 一彦



京都を知ろう！

新生活をはじめの皆さんにもっと普段着の“京都”を知ってもらい、また京の文化も積極的に学んでほしい！というわけで、日常生活だけでなく就職活動にも役立つ京都コーナーの中から、今回はこんな2冊をピックアップしてみました。

『京都人の商法：「伝統」と「革新」を両立させるビジネス感覚に学ぶ』 / 蒲田春樹著，サンマーク出版（335.2162 || KAM 01097446 2階 京都関係）

任天堂，島津製作所，京セラ，堀場製作所，ワコール，そして緑茶ペットボトル「伊右衛門」で一気に全国区となった茶舗・福寿園。「日本を代表する個性的で元気のよい会社」はすべて京都にあった！産業という角度から京都を取り上げ，京都商法の秘密に迫ります。ビジネス書としてだけでなく，京都文化の裏側を知る一冊として，また哲学書として，読み手の受け取り方ひとつで変わる，新たな切り口で書かれた京都本です。



『キョウト自転車生活』 / ワークルーム編著，光村推古書院（291.62 || WAK 01062021 2階 京都関係）

地域別に京都を楽しむコースが紹介されていて，写真や地図も多いので見ているだけでも旅気分。自転車で町を走る上でのルールや，京の町についてのコラム，そしておいしい情報にほっこりできるお庭やアートスペースの紹介もされているので，この一冊であなたも充実の「キョウト自転車生活」が送れること間違いなしです。

図書館^秘活用術 その弐

図書館と暮らそう！

大学時代は、勉強だけでなく日々の生活そのものを成長させる絶好の機会。図書館ではそんなみなさんの「大学生生活」を応援する、多数の資料を所蔵しています。せっかくなので勉強にプライベートに、図書館をフルに活用していきましょう！

『各種新聞』

(2階新聞コーナー)

突然ですが、図書館に新聞があること、ご存知ですか？実は、全国紙をはじめ地方新聞や外国の新聞など、図書館にはたくさんの新聞がそろっているんです。大学に入って新聞を読む機会が減った、という人は意外と多いのでは…。テレビやインターネットのニュースもいいですが、たまにはじっくり新聞を読んでみてはいかがでしょうか。



『ケンタロウのすぐごはん:悩まないでパッとできる』/ケンタロウ著, ソニーマガジズ (596)| |KOB 01044339 3階)

短時間でできてとっても簡単！包丁を全く使わない (!) レシピもあったりして、一人暮らしで料理初挑戦、という人でもチャレンジしやすい内容になっています。「今日のおかずはどうしよう」の時も「あともう1品」の時も大活躍間違いなしのこの本、レシピだけでなく料理のスタイリングもとてもオシャレなので、その辺もぜひ参考にしてみてくださいね。

図書館^秘活用術 その参

自分を磨こう！

自分の進路や資格のことを考えたときも図書館を活用すると思わぬひらめきが得られるかも。まずは情報の集め方を身につけたり資格・就職コーナーで将来のことを思い描いてみましょう。

『図書館のプロが教える「調べるコツ」：誰でも使えるレファレンス・サービス事例集』

／浅野高史, かながわレファレンス探検隊著, 柏書房

(015.2||ASA 01112325 2階)

大学の先生は「ネットで検索しただけの情報でレポートを書いてはいけない。」というけれど、じゃあどうやって調べたらいいんだろう、と困ったときはレファレンス・カウンターへ。自力で調べたいときはこの本。図書館の司書が実際の事例をもとにレファレンスの進め方を紹介しています。今年から開講される司書課程で資格の取得を目指す方はもとより、調べ物の前におすすめの一冊です。



『仕事常識：新・オトナの学校』 / 日本経済新聞社編, 日本経済新聞出版社

(336.49||NIH 01043374 3階 資格・就職)

まじめな問題集がたくさん並んでいる 3 階の資格・就職コーナーですが、こんな本もあるんです。茶髪の基準やビジネスマナーの落とし穴といった話題から、宴会の開きかたやジャパネット高田社長の話し方のコツといった話題まで、アルバイトでは知ることのできないことを気軽に知ることができます。このコーナーには他にも様々な仕事に関する本が並んでいるので、ぜひ立ち寄ってみてください。

相互利用サービス 利用しよう!

みなさんは利用したい資料が本学図書館にない時、どうしていますか？そんなときは、資料を所蔵している他大学図書館に見せてもらいに行ったり(閲覧)、図書の貸出や文献複写の依頼をすることができます。これを相互利用サービスといいます。

他大学図書館へ資料を見に行く(閲覧)

2階、3階のレファレンス・カウンターで申し込んだ後、図書館発行の紹介状か共通閲覧証を受け取り、身分証(学生証)を持って相手館を訪問します。2006年1月より大学コンソーシアム京都共通閲覧システムが新たに導入され、身分証だけで入館できる図書館も増えました。

- 確実に利用するには事前の問い合わせ(所蔵調査)が必要になりますので、利用したい資料を特定しましょう。
- 資料を利用する際はそれぞれの図書館の指示に従ってください。

他大学図書館、他機関から本を取り寄せる(借用)

レファレンス・カウンターで申し込んでください。他大学図書館や国立国会図書館から、一定の期間図書を借用することができます。

- 片道分の郵送料は利用者負担となります。
- 図書の利用は本学図書館内での利用に限ります。

コピーを取り寄せる(文献複写)

レファレンス・カウンターで申し込んでください。資料の必要部分(申し込めるのは著作権法により総ページの半分以下)について、コピーを取り寄せることができます。

- コピー料・郵送料は利用者負担となります。
- 雑誌の最新号からの複写は申し込めません。



「相互利用」なので・・・

もちろん「相互利用」ということは、他大学の学生さんも本学図書館の資料を閲覧に来られます。

同志社大学
立命館大学
京都大学
龍谷大学 など

近隣の大学の方が多いますが、中には本学にしか所蔵していない貴重な資料を遠方から閲覧に来られることもあるんですよ。



借用、文献複写ともに、国内の図書館にない場合は海外から取り寄せることもあります。レファレンス・カウンターで相談していただければ、日本だけでなく世界中の図書館からあなたの必要としている資料を探し出しますので、諦めないでください!



カット 今村 唯
(外国語学部 3 年次生)

図書館では文庫本や視聴覚資料(ビデオ・DVD等)も数多く取り揃えています。通学時に読んだり、授業の空き時間に観たりするのもいいでしょう。他にも映画上映会や企画展示会(P15のinformationをご覧ください)、各種ガイダンスといったさまざまなイベントを企画して、皆さんの学生生活をあらゆる方向からサポートすべくがんばっていますので、ぜひ定期試験前だけでなく普段から図書館を使いこなしてくださいね。

New! 個人視聴覚室 101 が リニューアルオープン!

4月から、個人視聴覚室 101 のブース、機器、モニタなどの設備や、壁面・床の内装を一新し、より快適な環境で、映像や音声資料を利用できるようになりました。

◆ モニタ画面はより大きく!

1人用は15インチ、2人用は20インチの液晶画面になり、迫力倍増です。

◆ 利用台数も充実!

23台23席から、27台31席に増設しました。

◆ 2人用ブース新設!

4台8席。ゆったり視聴できます。

◆ 同一資料を、同時に最大6名まで視聴可能!

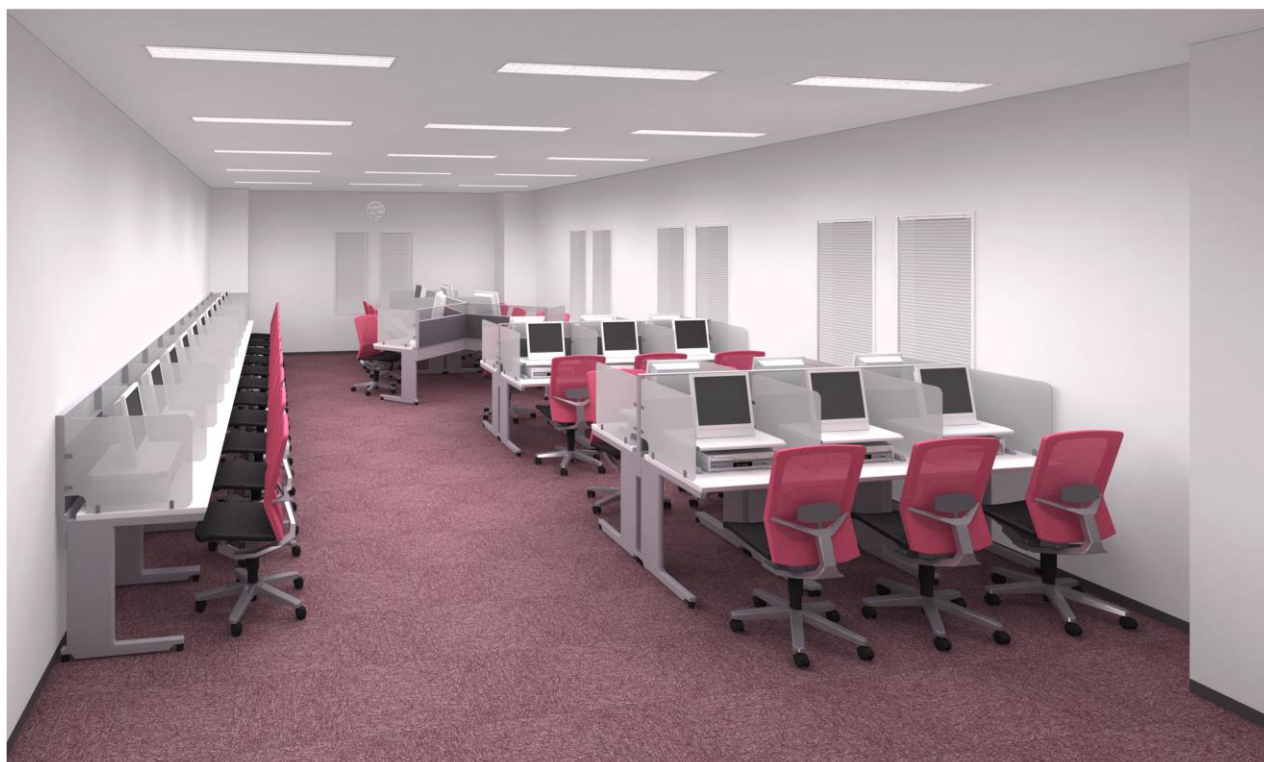
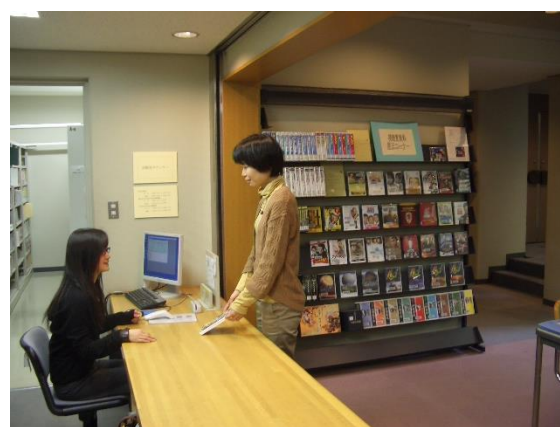
グループでの利用や、授業の課題などにも対応できます。

◆ 見通しのよいすっきりした配置!

空き状況が一目でわかります。

◆ 利用できる資料は?

図書館所蔵のビデオ、DVD、レーザーディスク、CDが利用できます。

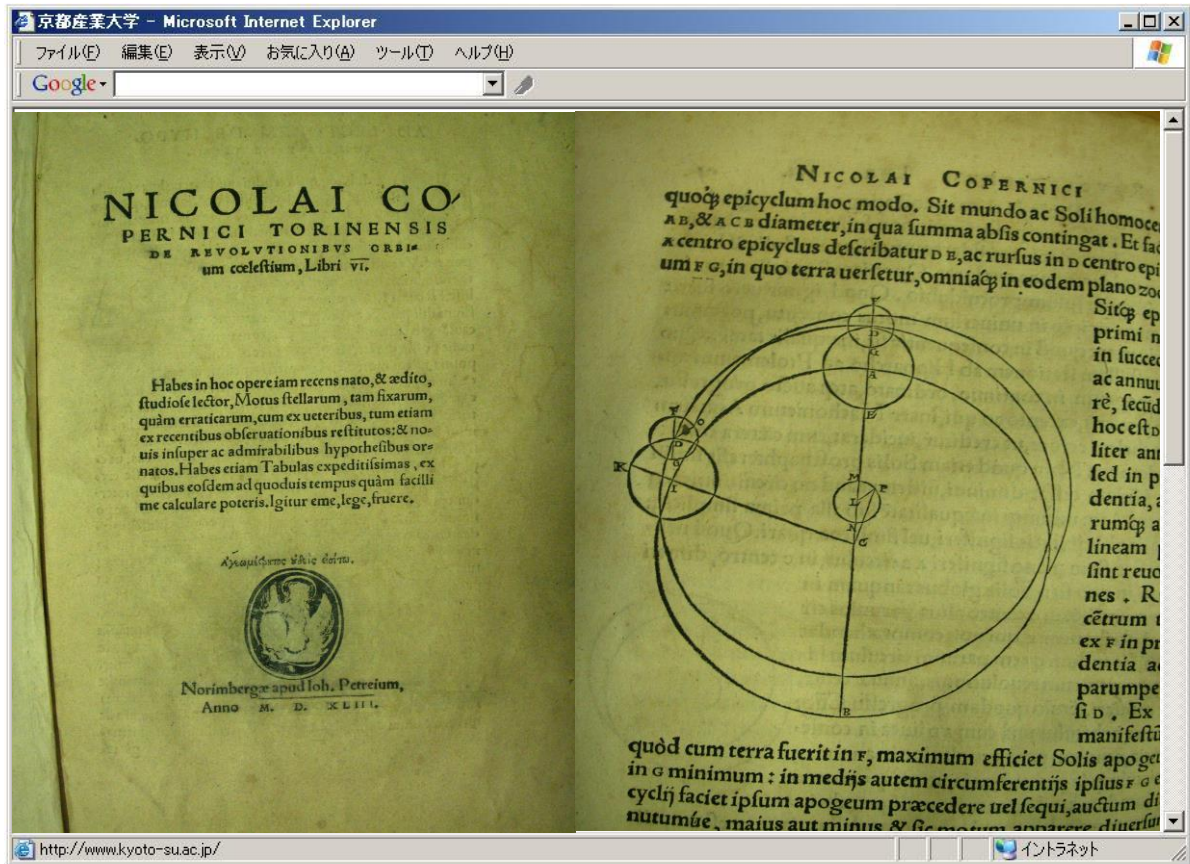


【完成予想図】

壁面・天井は清潔感あふれる白で統一、床カーペットは暖色系の落ち着いた色調を選びました。機器やブースは機能的にすっきりと調え、赤い椅子をアクセントに配しています。

貴重資料探訪

Copernicus, Nicolaus.(1473-1543)
 「De revolutionibus orbium caelestium」
 (天体の回転について)



写真左)
 ニュールンベルク、1543年発行初版本の標題紙。
 写真右)
 太陽中心説に基づいて、惑星の動きを解説したもの。

「天体の回転について」解説

井上 猛

ポーランド科学アカデミーは、コペルニクス生誕500年に際して各種の記念行事を開催。1973年9月生誕の地トルンで開かれた“人類と宇宙”と題する国際会議に世界の各地から多数の科学者が参集した。本学創設者荒木俊馬先生は当該アカデミーに請われ招待講演をなさったのである。随行した一人として、1543年に印刷された『天体の回転について』を手にする時は先生を偲び、暫し深い感慨に耽った。

『京都産業大学論集自然科学系列』 第3巻第3号
 コペルニクス生誕500年記念特輯 昭和49年(1974)

「コペルニクスは、アリストアルコスらの考えに回帰したに過ぎず真の意味での太陽中心説の創始者ではない」と云った見方がある。何と皮相な見方な事よ！

古代のギリシャ人のみならず中世の人々までもがアリストアルコスでは無しに、アリストテレス更にはプトレマイオスらを支持し続けたと云う事に思いを致すべきである。

コペルニクスの出現無くしては断じて『転回』は有り得なかった！！

水星にニュートンの力学では説明不可能な運動が在るとし、それを説明したのがアインシュタインの理論であると云う；これが‘現代の常識’！

説明不可能な運動と云うのは、実は水星運動理論の中に誤りが存在したが為なのである。広く学界の認める処では無いが、正しい結果であると考えて居る。

これが“コペルニクスの転回”の端緒となる事を切に願う。

(いのうえ たけし 本学名誉教授)

海外の図書館紹介

ケンブリッジの図書館

(イギリス)

塘 茂樹

ケンブリッジへ行ったら必ず訪れるのがケンブリッジ大学図書館でしょう。この図書館は、イギリスの他の大学図書館とちがって、本を無料で借り出せる点で、大変便利です。オックスフォード大学の図書館やロンドンの国立図書館などでは、貸し出しできないか有料となってしまいます。また、館内閲覧した本でも、予約表をはさんでおくと3日間は、そのテーブル上に置きっぱなしにしておいてもらえます。翌日、席があいていれば同じ場所で、再び同じ本を読み続けることが可能なのです。また、ケンブリッジ大学図書館には、青井パビリオンという日本語と中国語の文献を集めたセクション（一階南ウイング）があって、そこで、結構、日本語の本を読むこともできるのです。そのURLは <http://www.lib.cam.ac.uk/newton/> です。

でもこの大学図書館、こまったことに、外国人の学部学生の入庫を認めていません。もちろん外国人でもケンブリッジ大学に院生として登録しているとか、どこかのカレッジに研究員として所属していれば、その日のうちに入庫券を発券してくれますし、入庫券をもっている人の紹介で、一時的に半日入館することは可能（貸出は不可!）なのですが。そういう紹介者のコネのない人は、ライオン・ヤードにいきましょう。それはケンブリッジのど真ん中にある青空市場から数分のショッピングモールの一角なので、買物ついででもかまいません。なんと、そんな中心部にもう一つ、誰でも即入館できる、明るく暖房のよくきいたもっといごこちの良い図書館があるのです。

それはケンブリッジシャー州の運営している、セントラル・ライブラリーなのです。その入館にパスポートの提示とか、ロッカールームに荷物を置くとか、一切、ややこしい手続きなど必要ありません。そこに備え付けてあるパソコン（1階に16台+2階



に21台)は、入館者全員に無料で開放されていて、インターネットでメールする人たちがいつも満席状態です。もちろん、本来は、蔵書検索のために設置されているはずなのですが・・・。

この図書館の蔵書検索ホームページは <https://ibistro.cambridgeshire.gov.uk/uhtbin/webcat> です。

このパソコンのあるフロアには、通常の英語の本以外に、DVD やビデオ、さらに朗読カセットテープなど数多くそろっています。その上、日本語の本なども蔵書されています。もちろんそれらは少ないですが、例えば、郷ひろみの『ダディー』とか、『もののけ姫』、山川出版の教科書『日本史』とか『サザエさん』、英語の辞書『ニュー・ホライズン』、『新明解国語事典』などなどで、あきらかに、日本人のケンブリッジ滞在者が帰国の際に、寄贈したと思われるタイトルが目立ちます。

もちろん英語の本を含めて、これらの日本語の本も、長期滞在者なら借り出し可能です。長期滞在を示す書類とパスポートとを提示することによって、借出用のカードをその場で作ってもらえます。大学図書館の8週間という借出期間には負けますが、2週間は借り出せます。もちろん、DVD やビデオやカセットも借り出し可能なのですが、公共図書館であるにもかかわらず、これらのタイトルのほとんどは課金されるので注意しましょう。1 タイトル2. 2 ポンド (=500 円ほど) と少々高めです。課金対象のものには Charge と印があるのですぐわかります。

以上は、セントラル・ライブラリーの一般向けのフロアの様子でした。いえいえ、この図書館の魅力はそれだけにつきません。もう1階あがると、「ケンブリッジシャー州コレクション」という一大コレク



ションがあるのです。これには、ケンブリッジ関係の文献、写真、ケンブリッジの古地図（1547年）等々が一同に集められています。そう、ケンブリッジの歴史を調べたければ、このコレクションを訪ねることが一番なのです。いうまでもなく、ケンブリッジ大学関係の文献もけっこうそろっています。

もちろん、セントラル・ライブラリーにある本は、ケンブリッジ大学図書館にほとんどあるのです。でも、大学図書館では稀覯書扱いになっているものは借り出せず、自由にコピーできません。いちいち、依頼書にコピー箇所を列挙する手間がかかるうえ、A4 1 ページ 13 ペンス（＝30 円弱）の費用がかかります。しかもできあがりは、翌日以降と、

たいへん不便です。それに対して、ケンブリッジシャー州コレクションの蔵書は、10 ペンスでコピーできます。値段はそれほど変わりませんが、自分でその場でコピーできるのでたいへん重宝です。さらに、デジカメの使用が許されている点でも、大学図書館よりも格段に便利であるといえましょう。

でも、残念ながら、このすばらしいセントラル・ライブラリー、2007年1月20日で休館となってしまいます。実は、ライオン・ヤード一帯のモールを再開発することになったからなのです。その工事が終わるのが2008年の春とのことです。もちろん、この休館中にまったくその蔵書が見れなくなるわけではありません。もし何かを閲覧したければ、ケンブリッジの中心からやや離れてしまいますが、ミルトン・ロード・ライブラリーにいらっしやい。そこで閲覧することが可能です。そこは日曜もお昼から4時まで開館しているので便利です。ニュートン、ケインズ、ヴィトゲンシュタインたちの活躍していた頃のケンブリッジの古地図とか観光案内とかを今のとくらべてみると意外な発見があるかもしれませんよ！

（とも しげき 経済学部教員）

マックス・プランク国際社会保障法研究所の 小さな図書室

（ドイツ）

高島 淳子

まずは、私が滞在しているマックス・プランク研究所の概要から説明しましょう。マックス・プランク国際社会保障法研究所は、ドイツのミュンヘン市にあります。ミュンヘンといえば「ビールとソーセージにサッカー」ですが、2006年6月にはサッカーワールドカップ、9月から10月にかけてはオクトーバーフェスト、12月にはクリスマスマーケットに2月はカーニバル・・・と想像以上にお祭り好きな街です。研究所はこの街の中心部から程近く、総合大学として知られるルートヴィヒ・マクシミリアン大学（ミュンヘン大学）はすぐ北に、観光名所として知られる旧市庁舎のあるマリエン広場や広大な英国庭園も徒歩圏内です。この「マックス・プランク研究所」と呼ばれる研究所は全部で80ヶ所近く存在し、その対象領域も文理双方にまたがります。そのため、自己紹介の際に「マックス・プランク研究所の客員

研究員です。」とただただでは研究内容が特定されず、高名な物理学者の名によるという研究所の由来を知る人からは「物理学の研究ですか？」などと聞かれることもしばしばです。

滞在先であるマックス・プランク国際社会保障法研究所は、30人を超える研究員を抱え、私のように海外からの客員研究員も常に数人滞在しています。博士論文準備中の者をもみても、ドイツだけでなくスペインやポーランド、ハンガリー、中国と国際色豊かです。ここでの研究を支える図書室は研究所の4階（日本風にいえば5階）にあり、国内外の社会保障法関連を中心に約8万4千冊の書籍があります。研究所に「国際」と名がつくように、外国語の書籍が多いのもひとつの特徴で、英語、フランス語はもちろん、トルコ語や中国語、数は少ないが日本語のものも所蔵されています。入り口近くには多数の雑誌用の棚、その奥に蔵書の棚が並び、検索用のPC、コピー機、作業用の机といすが置かれるなど、中の様子は日本の図書館と変わりません。地下には、雑誌のバックナンバーや利用頻度の低い書籍が収められています。貸出期間や貸出制限冊数などはなく、コピー機も自由に使うことができるというのは、なかなかおらかなものです。



写真：マックス・プランク国際社会保険法研究所図書館

これだけの蔵書で、また真面目なイメージのあるドイツのことでだからさぞ整然と管理されているだろうと思いきや、ここでの管理はカードを用いたアナログなやり方です。書籍を借りる場合には、規定のカードに書名や著者名、日付、借主の氏名を記入し、それを書籍のあった棚においていくのです。全員がこの方法を守れば問題ないのですが、残念ながら書籍が行方不明になることもあります。そうすると司書の方が「次のタイトルの書籍を探しています。」というメールをメールリストに流し、検索に乗り出します。こうした検索に長ける司書の方もちゃんとして、私が書籍を見つけられずに困っていたところ、30分と経たないうちに探し出してきてくれました。このアナログ方式でなんとかなっているのは、比較的小規模な研究所の図書室で、主な利用者である研究者どうしが顔なじみだからでしょう。なじみのない訪問者は、研究所入り口で受付のおじさんに訪問理由を告げなければ中に入ることはできません。受付のチェックさえ通過すれば、後は一般学生や海外からの訪問者もかなり自由に図書室を利用できますし、図書室入り口にゲートなどは設けられていません。研究所内の検索だけでたいいていの書籍が見つかるということは、ドイツ人のルールに対する真摯な態度を示しているのか、あるいは顔社会とも称されるドイツ社会の一面を表しているように思います。

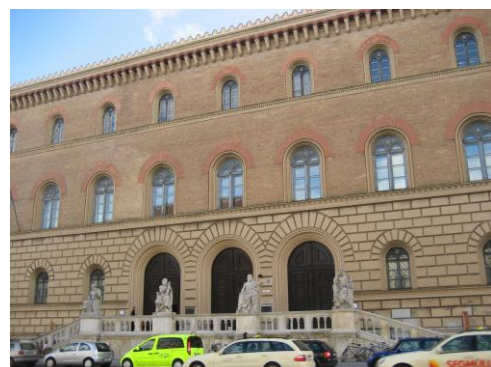
当研究所の図書室も、ついに磁気テープを用いた管理体制へと移行し、同時に場所も研究所4階の一角から2階ワンフロア全体へと拡充されることが決まっています。現在、これにあわせて書籍の整理が行われており、処分される書籍は空きスペースの大きなテーブルの上に山積みになっています。これらの書籍は、気に入ったものがあれば持ち帰ってよいのです！たいいていは古い版の教科書の類ですが、丹念に探してみると自分の研究領域に関連のある論文集などが見つかることもあります。

研究所内では、図書室内の蔵書に加え、電子ジャーナルや各種データベースも利用できます。ドイツの法律文献を検索する際に欠かせない *juris* はもちろんのこと、連邦官報や各種の統計資料、過去記事も含んだ新聞の閲覧と幅広い内容で、小さな図書室

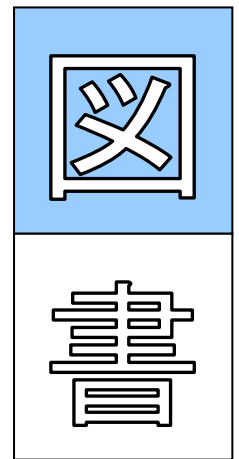
に収まりきれない情報を補う大事な役割を担っています。また、この研究所の特徴といえるものに学生アルバイトによる文献複写サービスがあります。読みたい論文の掲載されている雑誌が研究所の図書室になくても、学生アルバイトに論文タイトルや著者名を添えて依頼をすると、彼らが所蔵される図書館にまで出向き、必要箇所をコピーして研究室に届けてくれるのです。たいいていの文献はすぐ近くのルートヴィヒ・マクシミリアン大学内の図書館のどこかに、あるいはそこになくとも通りをひとつ東側にいったバイエルン州立図書館内に所蔵されています。さすがに州立図書館では厳格な所蔵管理がなされており、簡単に中に入って複写をとというわけにはいきませんが、そこで順番待ちをしたりすることなく文献を手にするのは非常に助かります。目当てとする文献がすでに決まっている場合には、実に合理的な方法です。こうした学生アルバイトは常に3名ほどが雇われており、交替で勤務しているため、文献依頼をした翌日から3日ぐらいの間でたいいていの文献は手に入れられます。ルートヴィヒ・マクシミリアン大学所属の研究者の場合は、大学内の図書館と州立図書館共通の入館カードを用いて自分で文献複写に出向くことになるようなので、このサービスは当研究所独自のものでしょう。

新管理体制による図書室オープンにはもう少し時間がかかるため、私が滞在中に利用することはなさそうです。新体制になれば、よりスムーズに必要な文献を手に入れられるようになるでしょう。何を研究しているかも重要な情報であるとの立場からすれば、今のアナログ方式には問題があるともいえません。しかし、「〇〇の本持ってない？」と周りの者に聞いてまわるといふアットホームなやり取りがなくなるのもさびしい気がします。今の図書館のあり方は、「大きな田舎」といわれるミュンヘンの街の印象と重なります。図書室の管理方法が顔の見えるこれまでのやり方から、大勢を相手とする現代的なシステムへと移行することで、研究所のあり方そのものが変化していくのか興味深いところです。

(たかはた じゅんこ 法学部教員)



写真：バイエルン州立図書館



子どもが見ている背中

足の骨を折ると普通に歩けることの素晴らしさを実感します。教育の世界で最近大切なものが無くなりました。「教育基本法」です。全く無くなったわけではありませんが、改悪されました。改悪の要は教育者の自由や自主性が政府の権威に従属させられたことです。教育の権威の基礎は真理です。それを最大限忠実に懸命に学習者に伝えるのが教員です。そこに教員の自由と自主性が必要なのです。これが教育に大切なものなのです。それを保障していたのが旧「教育基本法」でした。

足の骨を折っても道が整備されているとさほど苦労に感じません。教育界の道は惨憺たる悪い道になっています。教育行政が徐々に介入し、教員から自由と自主性を奪い、強制的に政策に隷属することをさせてきました。泥濘の道になっているのです。罰則をもって迫まられる教員は自分を欺きながら従うか、誠実に振舞って崩れるかのどちらかです。子どもは教員の背中を見て育つのです。野田正彰氏は本は、精神科医の視点から、行政の横暴、国旗国歌の強制、人格の触れ合いの教育の希薄化の中で益々悪化する教育現場の中で崩れていく教員たちを描いています。

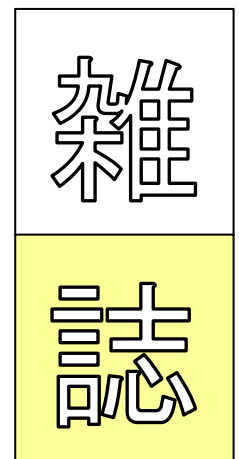


373. 2-NOD / 3階

外国語学部教員
多湖 正紀 (たご せいき)
『子どもが見ている背中』
野田正彰著 岩波書店

Lib. 神山人から

Business Week



私たちは、日本の会社については、テレビや新聞のニュース、雑誌の記事を通じて、身近に情報を得ることが出来ます。しかし、世界のビジネスについてはどうでしょうか。どんな会社があり、諸外国で何が話題になっているのか、興味を持ったことはありませんか。

『Business Week』は、気軽に世界のビジネスについて知ることができる入門雑誌としておすすめです。例えば、
①米国で直接農家から野菜を買う消費者が増えているのはなぜ？
②サムスンとソニーはどんなコラボレーションをしているのか？
③豪酒類大手のフォスターズは、余剰ワインをどうやって売ったのか？
④中国のソフトウェア産業が、インドのように発展するための課題は？
⑤リアル・マドリッドはどんな経営をしているのか？

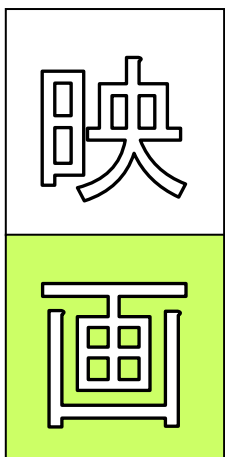


3351AC : B 137 / 2階-雑誌

経営学部教員
中野 幹久 (なかの みきひさ)
『Business Week』
The McGraw Hill

少し古い映画ですが、とにかく観てく
さい。映画を観終わった時僕の体は震え、
エンドロールは霞んでいた。声こそ上げな
かったけれど、号泣していたのだ。この映
画の何が僕の琴線に触れてしまったのか。
たった一度の人生の中で誰もが考え、あ
る時は悩む、愛（恋愛・兄弟愛・親子愛）
や生と死について描かれるいくつものシー
ン。その心情がどれも淡々と繊細に描かれ
ていることへの畏敬或いは畏怖かもしれな
い。それは、今まで様々な映画から多くの
感動を味わってきたけれど、人の心の温も
りをこれほど丁寧に作り上げた映画に出会
わなかったからだと思う。

八月のクリスマス



何度も観た。それでも僕は未だこの映画
の素晴らしさを語り尽くせない。観る度に
感動し涙するしか術がないのだ。
映画史上に残るアジアの名作を、みなさ
ん是非観てください。一度とは言わず二度
三度と。

学長室職員

川合 徹（かわい とおる）

ホ・ジノ 監督
1998年韓国映画（99分）



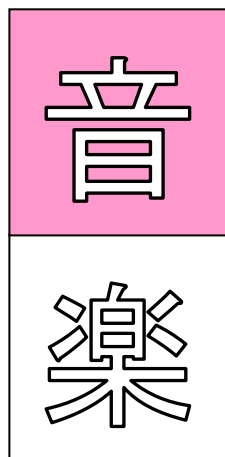
[DVD] 778. 72-TOR / 1階

近頃ちよつとしたクラシックブーム。そ
れはモーツァルト生誕二五〇周年と騒が
れた事がきっかけです。また、それ以上の
きっかけを与えたのがドラマ「のだめカン
タービレ」。今までクラシックに縁のなか
った人たちがクラシックにグッと近づい
たのです。

今回紹介したい曲は、そこで使われた華
やかなオーブニング曲「ベートーベン交響
曲第七番」。リズムカルで聴いていると心
躍るこの曲。明るく親しみやすい曲で高い
完成度を誇っています。しかし、他の交響
曲と比べ知名度が低く、今までは知る人ぞ
知る作品でした。それが、ののためのオーブ
ニングに使われるとたちまち人気急上昇。
一気に知名度もアップしました。
曲は全体的に、駆け足で走り抜けていく
ような流れです。疲れているとき、落ち込
んだとき、元気を与えてくれ、なおかつ華
やかな気分にしてくれます。

Symphonies

no. 5 · no. 7



三番英雄、五番運命、六番田園のように
別名がなく脚光をあびることのなかったこ
の「第七番」。クラシック初心者でも、聞き
やすく、聴いて損はありません。ぜひフル
で聴いてみてください。この機会に、いつ
もとは違う音楽の世界を広げてみてはいか
がでしょうか。

経営学部 三年次生・神山交響楽団
保坂 次郎（ほさか じろう）



Symphonies no. 5 · no. 7 (約73分)
カルロス・クライバー 指揮
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 演奏

[CD] 764. 31-BEE / 1階

なび

のオススメ!

情報の探し方

このコーナーでは、現在導入しているデータベースの検索ツール等を紹介します。

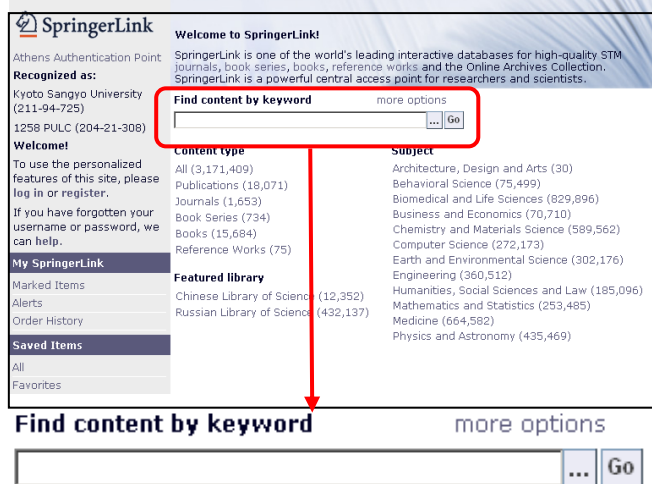
12



2007年より SpringerLink(シュプリングラー・リンク) コンソーシアムに参加しました。これは、Springer グループが発行する雑誌のうち 1237 誌(2006年12月20日現在)に1997年以降掲載された記事・論文を Web 上で閲覧できるシステムです。さらに786誌について、初号から1996年発行号まで閲覧できる契約も行いました。

これに伴い、2006年まで購読していた Springer グループ発行雑誌の多くは、冊子体(紙媒体)からオンライン・アクセスに変更となり、学内外のどこからでも読むことができるようになりました。

SpringerLink には、図書館 web ページの「電子ジャーナル・データベース」からアクセスできます。



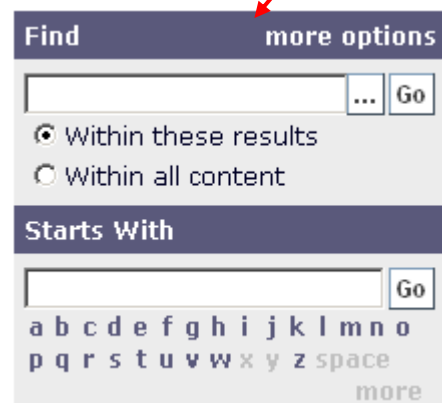
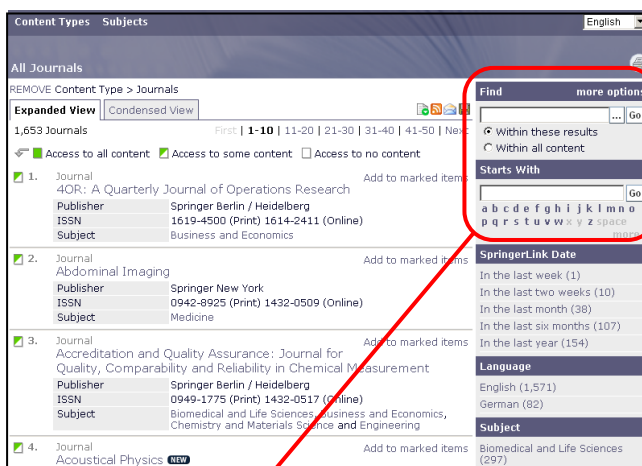
上の図は SpringerLink のトップページで、ここからキーワードを入力し、記事を検索できます。また「more options」の部分をクリックすると、詳細検索ページが表示され、記事本文中の単語、論題、著者などから検索可能です。

記事を閲覧するもう一つの方法として、雑誌名からアクセスする方法があります。これまで特定の雑誌を利用していた方には便利な方法です。

SpringerLink トップページの「Content type」から「Journals」部分をクリックすると雑誌一覧画面

が表示されます。

「Find」欄に探したい雑誌名に含まれる単語を入力するか、「Starts With」欄に雑誌名の始めの部分を入力して「Go」ボタンをクリックすると、該当する雑誌の一覧が表示されます。



雑誌名をクリックし、最新号から順に表示された号数の部分をクリックすると、その号に掲載されている記事の一覧が表示されます。

その論題の前の部分に四角いマークがあり、■マークが付いている記事は「Text」項目の「PDF(*kb)」部分をクリックすると本文を読むことができます。

SpringerLink は、cc 環境のユーザ ID、パスワードを使って、自宅等の学外からでも利用できます。以下の URL にアクセスしてください。

<https://ccslvpn.kyoto-su.ac.jp/>

この URL にアクセスすると学外からでもアクセスできる SpringerLink 以外のデータベースもリストアップしてあります。ぜひご利用ください。

教員文庫寄贈一覧

寄贈順 (9/1～3/31) 敬称略

三好 準之助 (外国語学部)

『セルバンテスの仲間たち：スペイン語の話者の歴史』 柳原出版，2006

森 博達 (外国語学部)

『日本書紀の謎を解く：述作者は誰か』 中央公論新社，1999

『일본서기의비밀』 모리 히로미치 지음；심경호 옮김 황소자리 출판사，2006

小林 一彦 (文化学部)

『冷泉家歌の家の人々』 (私家集全積叢書 23) 書肆フローラ，2004

『沙弥蓮瑜集全積』 風間書房，1999

小林 武 (文化学部)

『章炳麟と明治思潮：もう一つの近代』 研文出版，2006

岡本 光治 (経済学部)

『中国経済の市場化・グローバル化』 晃洋書房，2006

島 憲男 (外国語学部)

『ドイツ語研究と類型論：共通の展望に向けて』 (日本独文学会研究叢書 39号) 日本独文学会，2006

『Linguistik International：Festschrift fur Heinrich Weber』 Pabst Science Pub，c2006

狭間 直樹 (外国語学部)

『20世紀の歴史家たち 5:日本編続』 刀水書房，2006

高原 秀介 (外国語学部)

『ウィルソン外交と日本：理想と現実の間 1913-1921』 創文社，2006

Information

春学期の図書館利用教育計画

春学期中に、次の利用教育を実施します。新入生・ゼミ受講生はクラス単位で受け付けます。

実施対象	実施時期	実施内容・所要時間
新入生	4～5月	利用案内・検索実習(蔵書・新聞記事・雑誌記事)・館内案内(90分)
ゼミ受講生	4～7月	文献探索法・検索実習(インターネット・CD-ROM)(90分)
大学院学生	4月	利用案内・文献探索法・データベース紹介・検索実習(90分)
新任教員	4月	利用案内・研究用図書購入申込み方法・検索実習(蔵書・契約DB)・館内案内(90分)

新規導入データベース紹介

詳細は図書館 HP をご覧ください。

- ◆ブリタニカ・オンライン・ジャパン：ブリタニカ百科事典が日本語・英語版とも利用可。
- ◆ODNB オンライン：Oxford Dictionary of National Biography (伝記辞典)のオンライン版。
- ◆BOOKPLUS：昭和以降の310万点の書籍を網羅。
- ◆Marquis Who's Who on the Web：1985年以降の上記シリーズの人物情報が検索可。
- ◆SpringerLink：Springer社発行雑誌786誌の1854年から1996年発行号が読める。→詳細はp.14
Lecture notes in Computer Scienceも収録。
- ◆JSTOR：Arts & Science I・II 経済・歴史・政治・環境・数学・統計学分野の119誌と、アジア研究・考古学・古典、地域研究(ラテンアメリカ・中東・スラブなど)分野の125誌が、創刊号から最近1～5年間分まで読める。

館内の施設・設備が新しくなりました!

- ◆個人視聴覚室101を全面改修→詳細はp.7
- ◆ブック・ディテクション・システム(無断持出防止装置)を、老朽化のため更新。
*貸出手続きは必ず受けてください。
- ◆蔵書検索EZ-Cat専用パソコン15台を更新。
- ◆玄関横に案内板を設置予定(春学期中)。

(案内)「サインバイノー、モンゴル」展

今年の日蒙両国外交関係樹立35周年です。モンゴルにちなんだ資料を展示しています。
○期間：平成19年5月10日(木)まで
○会場：図書館1階パソコン室展示スペース

(案内)「図書館、ときどき、映画館～映画・ドラマを図書館で～」映画上映会

○期間：4月6日(金)から12日(木)
○会場：図書館ホール
日時、タイトル等はPOST、学内掲示板、館内掲示でご確認ください。

(予告)「第3回図書館書評大賞」原稿募集!

応募資格は学部学生のみ、書評対象図書は本学図書館の所蔵図書。応募期間は、6月1日(金)～9月29日(土)。応募要領等の詳細は、図書館HP、POST、館内掲示で発表します。

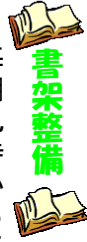
編集後記

4月に入り、あちこちでお花見が企画されていますね。今号の特集はいかがでしたか?
今年のトレンドは「花より図書館」。ONのときOFFのとき、いつでも、何度でも図書館にご来館ください。誌面の構成・カットにご協力いただいた漫画部、デザインクラブのみなさん、ありがとうございました。

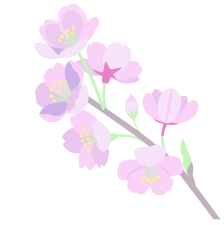
司書のお仕事

図書館で働く職員はどんな仕事をしているのだろうか？

利用者みなさんの目に触れやすい場所で働く図書館員の四月のある一日から、主な業務内容をご紹介します。



書架整備
毎朝九時から三十分間、サービスタ担当職員全員で閲覧室の書架の配列の乱れを直す。間違った棚に本が返されていたり、破れて使えない本が数冊見つかった。単純作業のようだが、書架の乱れから分野ごとの利用状況がわかったりして奥が深い。どの図書館でも、利用者が探しやすいように書架を整えるのは基本的な仕事だ。



午前中はレファレンスカウンター担当。新入生は「レファレンス」の表示が珍しいようだ。レファレンス・カウンターでは、利用者の調べ物や参考資料を探すお手伝いをする。ゼミ受講生も、各自の研究テーマが決まったらしく、頻りに質問に来る。参考文献やインターネット情報を紹介したり、雑誌記事索引データベースの利用指導をしたりで忙しかった。



利用教育
午後はゼミクラスの授業のレコマで、テーマに沿った文献探索ガイダンスを担当。ゼミ発表が間近に迫っているせいか学生は熱心に聞いている。データベース検索実習では、テーマに合った雑誌記事が沢山見つかり思わず「おお」と声があがっている。終了後のアンケートでは「本日のガイダンスは役に立つ」という回答が多かった。



学生用図書選択会議のメンバーとして、週刊版の最新出版情報から購入図書を選択。学生の購入希望雑誌なども選択会議で購入するかどうか検討する。毎週日曜日掲載の新聞各紙の書評欄を抜粋したファイルも熟読して購入を決定する。学生用図書の選書は授業と密接に関わるだけに、担当分野の『講義要項』の科目を思い浮かべながら、気合をいれて選ぶ。



電子情報源の利用支援
新学期から契約したデータベースを実際に使いながら、学生向け利用マニュアルを作成する。レポート作成などに利用するといかに役立つかを、操作画面を取り込むなどして、わかりやすくまとめるのに苦心した。



カット 福嶋 大吾
(経済学部 2年次生)

発行 京都産業大学図書館
所在地 〒603-8555
京都市北区上賀茂本山
電話 (075) 705-1446